

令和2年6月15日

新型コロナウイルス感染症に伴う各専門部会の大会開催に関するガイドライン

岐阜県高等学校文化連盟

1 はじめに

このガイドラインは、新型コロナウイルス感染症対策に当たり、岐阜県高等学校文化連盟の各専門部会が行う大会、公演、発表会、交流会、コンクール、コンテスト、作品展、講習会等（以下「大会」という）の開催に関する考え方を示したものである。

2 大会を開催する前提条件について

- (1) 学校が通常どおり再開されていること。
- (2) 岐阜県が部活動の自粛を要請している場合は、自粛が解除された日から10日以上の期間を設けること。
- (3) 各協会や連盟が当該部活動の自粛を要請している場合は、自粛が解除された日から10日以上期間を設けること。

3 大会の参加について

- (1) 大会の参加については、生徒、保護者の同意を得た上で無理のないよう配慮する。
- (2) 生徒に基本的な感染症対策（手洗い、マスク着用）を徹底させるとともに、発熱等のかぜの症状がみられる場合は参加させない。

4 大会の実施方法について

- (1) 各協会や連盟がガイドラインを示している場合は、それに基づいて大会を実施する。
- (2) 使用する施設の利用規定に基づいて大会を実施する。
- (3) 入退場時の密集を回避する。
- (4) 昼食時の注意事項を作成し、生徒に徹底させる。
- (5) ステージを利用する場合は、飛沫防止のため観客席との間に十分な距離を確保する。
- (6) 当面、出演者同士の間隔を2m以上確保する。
- (7) マイクは適宜消毒を実施する。
- (8) 管楽器は使用者による管理を徹底し、他人が触れないようにする。
- (9) 楽屋などでの3密を回避する。

5 健康観察の実施について

- (1) 生徒、部顧問、部の指導者等（以下「大会参加者」という。）に当日の検温を義務付け、発熱等のかぜの症状がみられる場合は入場させない。
- (2) 部顧問は参加生徒の検温結果や体調を確認し、当日、大会責任者に報告する。

6 会場等の環境整備について

- (1) 会場等では、密閉空間とならないよう十分な換気を行う。原則、開放（2方向以上の窓を同時に開けるなど換気を励行する。）とする。また、開放が難しい場合は30分から1時間ごとに1回活動を休止し、10分程度の換気を行う。
- (2) 手指消毒ができるよう消毒液を設置するとともに、多くの生徒が手を触れる場所等は適宜消毒を行う。
- (3) 体調不良者の待機場所を確保する。

7 大会参加者が感染した場合の対応について

(1) 大会前

- ア 感染者及び濃厚接触者と特定された者は参加できない。
- イ 参加申込み後のメンバーの変更については、各専門部会で判断し決定する。

(2) 大会期間中

- ア 大会期間中に、発熱等のかぜの症状を訴える生徒がいた場合は、待機場所に待機させるとともに保護者に迎えを依頼する。大会を継続するか否かについては、大会責任者が状況を判断し決定する。
- イ アに伴う感染者及び濃厚接触者と特定された者は、保健所等が指示する待機期間中は大会参加できない。
- ウ ア又はイとなった場合、大会の結果等の取扱いについては、各専門部会で判断し決定する。

8 その他

- (1) 大会が開催できなかった場合、全国大会等への参加者の選考方法について検討の上、事前に各校に了承を得ておく。
- (2) 県が示す「コロナ社会を生き抜く行動指針」等に基づいて対応する。